

木村真三さん講演会パートⅡ

ベラルーシ・ウクライナ調査報告

「ベラルーシ・ウクライナと飯舘村」

講師：木村真三さん(放射線衛生学者) ゲスト：伊藤延由さん(福島県飯舘村村民)

日時：10月18日(日) 14時開始 13時30分開場

会場：エルパーク仙台 6 F ギャラリーホール

仙台市青葉区一番町4丁目11-1 (裏面地図をご参照ください)

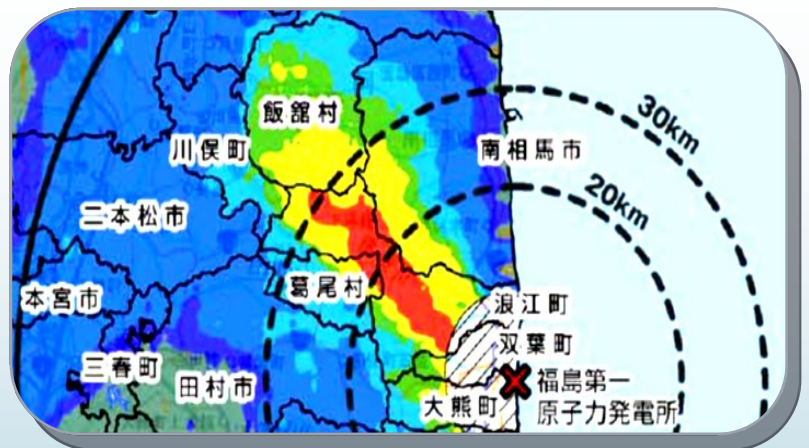
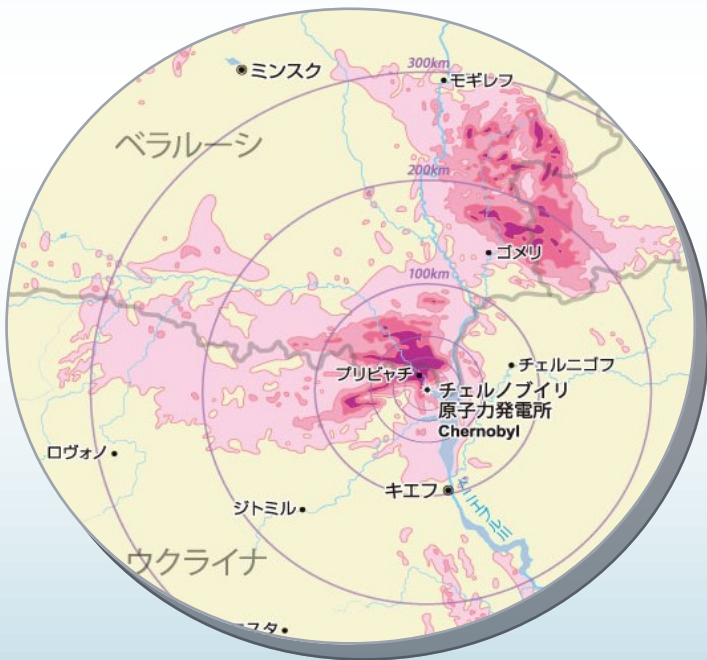
入場無料・予約不要

左図：2011年12月 早川由紀夫(群馬大学)さん作成

チェルノブイリ周辺地域の放射能汚染地図

下図：2011年7月 文科省による航空機モニタリング測定結果

事故原発周辺地域地表面へのセシウム蓄積量マップ



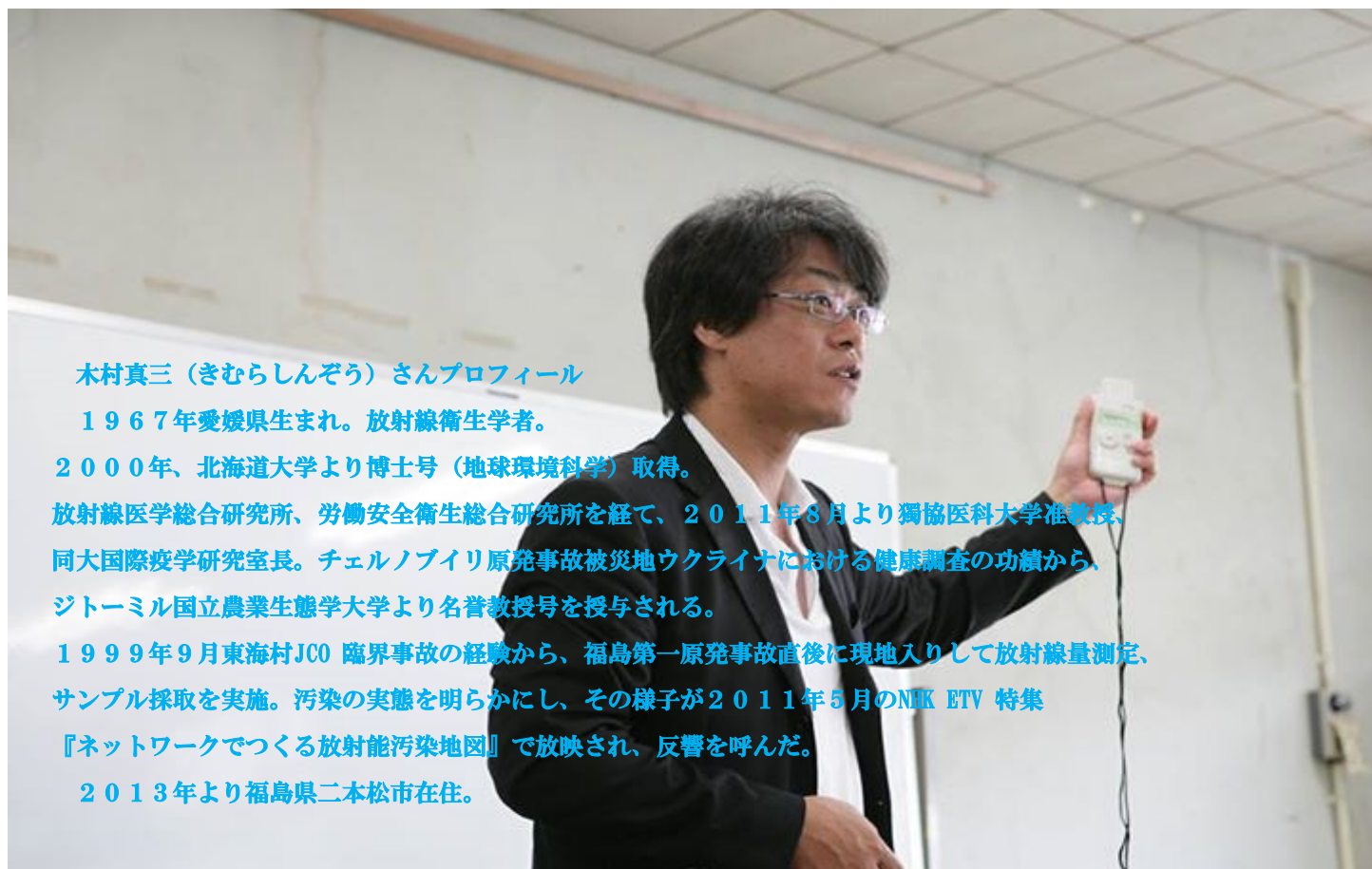
木村真三さんからのメッセージ

今年(2015年)6月から12ヵ月間の予定でチェルノブイリ原発事故被災地、ベラルーシとウクライナの連続調査に入っています。私の視点と飯舘村村民の伊藤延由(いとうのぶよし)さんの考えや気持ちなどがどう交差しているのかを、みやぎの方々にも聞いていただけると幸いです。

主催・お問合せ先：日本キリスト教団東北教区放射能問題支援対策室いずみ

Tel&Fax 022(796)5272

E-mail izumi@tohoku.uccj.jp



木村真三（きむらしんぞう）さんプロフィール

1967年愛媛県生まれ。放射線衛生学者。

2000年、北海道大学より博士号（地球環境科学）取得。

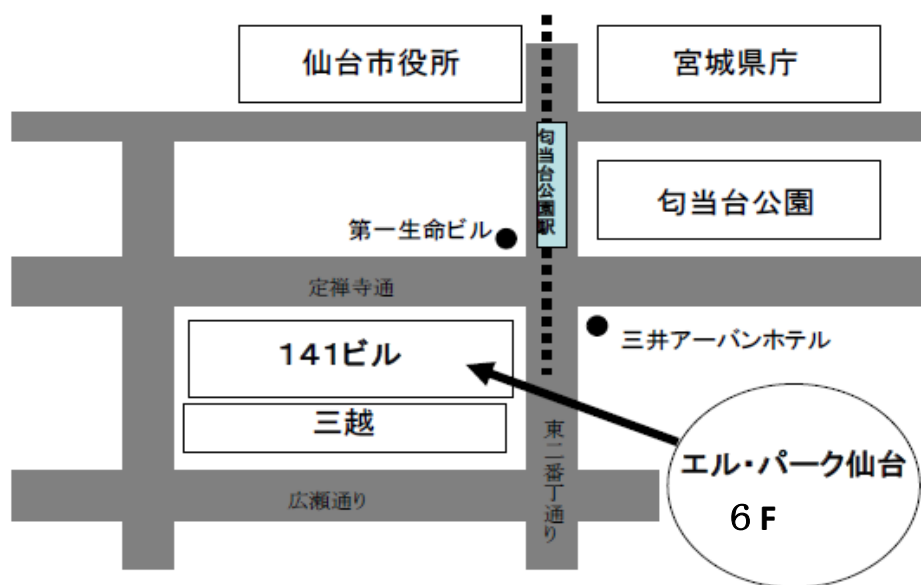
放射線医学総合研究所、労働安全衛生総合研究所を経て、2011年8月より獨協医科大学准教授、同大国際疫学研究室長。チェルノブイリ原発事故被災地ウクライナにおける健康調査の功績から、ジトーミル国立農業生態学大学より名誉教授号を授与される。

1999年9月東海村JCO 臨界事故の経験から、福島第一原発事故直後に現地入りして放射線量測定、サンプル採取を実施。汚染の実態を明らかにし、その様子が2011年5月のNHK ETV 特集『ネットワークでつくる放射能汚染地図』で放映され、反響を呼んだ。

2013年より福島県二本松市在住。

エルパーク仙台 会場地図

公共交通機関利用へのご協力をお願いいたします。お車の場合は有料駐車場をご利用ください。



「エルパーク仙台 6Fギャラリーホール」

宮城県仙台市青葉区一番町4丁目11番1号 仙台141ビル 6F TEL 022 (268) 8300

* 仙台市営地下鉄南北線「勾当台公園駅」下車 南1番出口より地下道で連絡

* バス 商工会議所前または定禅寺通市役所前下車